

4.3 事業者アンケート調査結果

(1) 回答者の構成

● 業 種

製造業：49%、サービス業：21%、飲食店：16%

● 従業員数

1～4人：33%、50～99人：14%、200人以上：16%

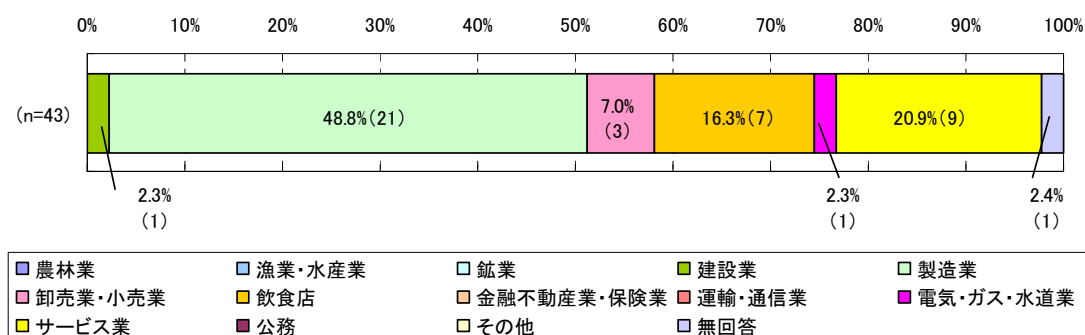


図 4.3-1 業種

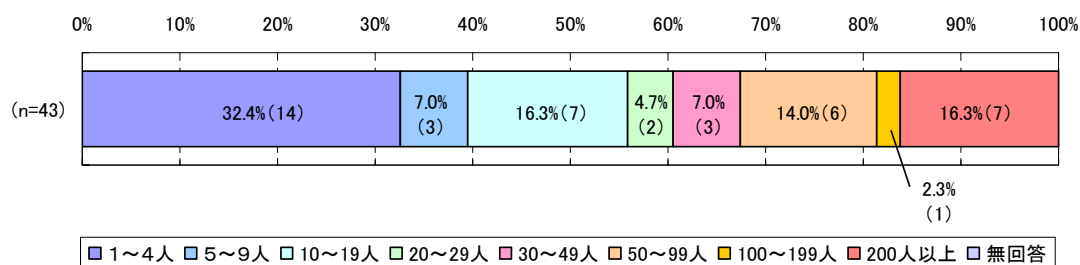


図 4.3-2 従業員数

注) グラフ上の () 内は、回答事業者数を示す。

(2) 環境問題

● 関心がある環境問題

「地球温暖化」が74%で最も高く、次いで「廃棄物の増加」54%。「異常気象の頻発」40%の順であり、住民アンケート調査と比べて地球温暖化と異常気象の頻発に対する意識がやや低い。

● 限りあるエネルギーに対する考え

「不安を感じている」が約60%の一方、「不安はない」が約40%である。

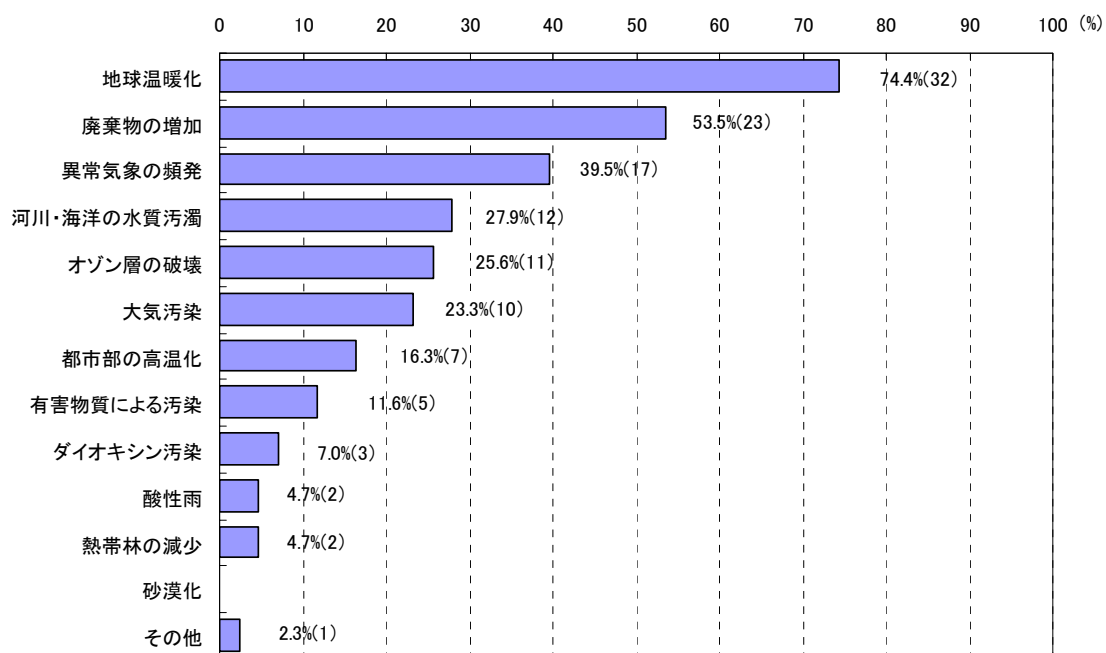


図 4.3-3 関心がある環境問題（3項目選択）

[その他の内容]

- ・ 鶏インフルエンザ

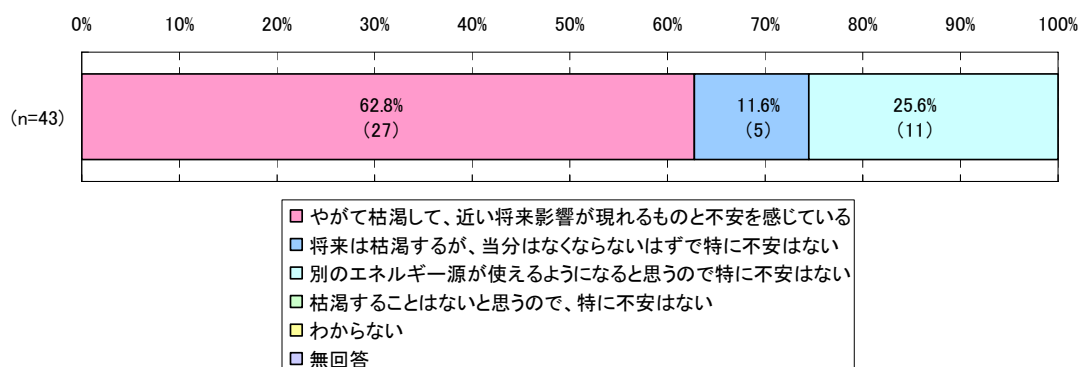


図 4.3-4 限りあるエネルギーに対する考え

● 「地球温暖化」の解決策について

約70%が「省エネルギー対策に取り組む必要がある」、約40%が「新エネルギーを導入すべき」と回答しており、住民アンケート調査と比べて、新エネルギー導入に対する意識は低い。

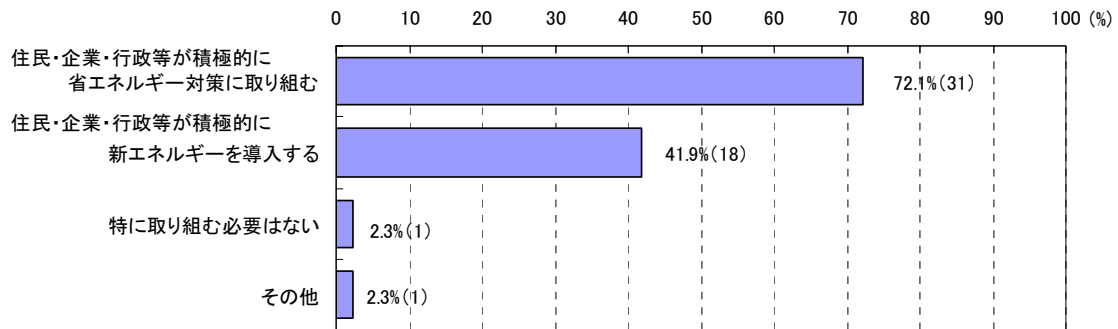


図 4.3-5 「地球温暖化」の解決策について（複数回答）

[その他の内容]

- ・10年後はこうしたい具体的な目標を掲げる

(3) 新エネルギーの認知度

●知っている新エネルギー

「風力発電」が93%、次いで「太陽光発電」91%、「太陽熱利用」86%と高く、住民アンケート調査と同様である。

住民と比べて高いのが「燃料電池」72%(住民56%)、「廃棄物熱利用」65%(住民52%)、「コージェネレーション」35%(住民9%)、「バイオマスエネルギー」33%(住民22%)である。

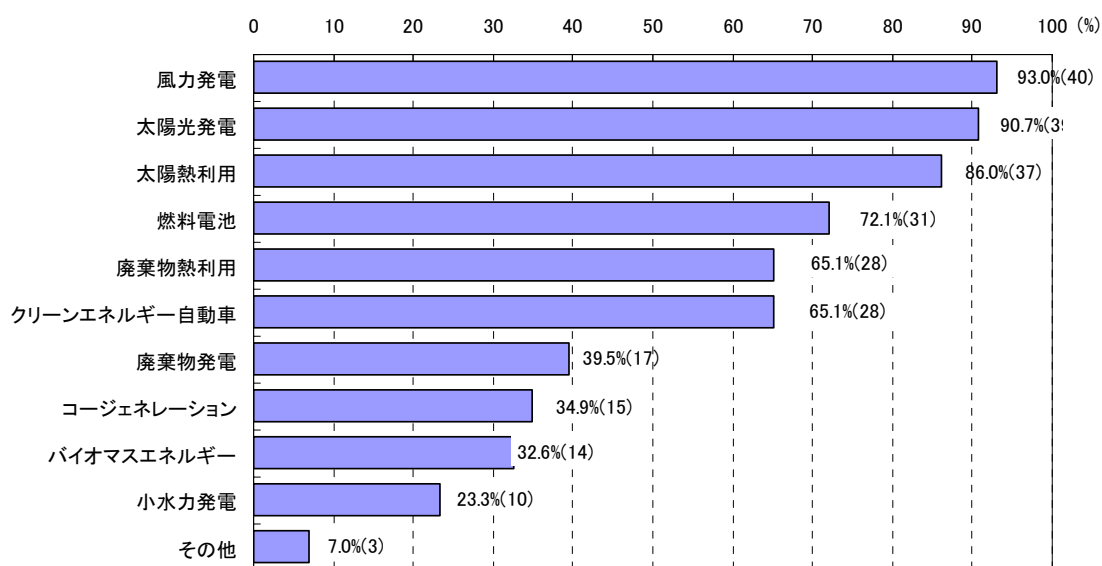


図 4.3-6 知っている新エネルギー（複数回答）

[その他の内容]

- ・地熱発電、潮力発電地熱利用
- ・新電池を開発して欲しい

(4) 新エネルギーの導入について

●新エネルギー機器等の導入

太陽光発電：「既に導入」が2%、「助成があれば導入」が44%と、住民(52%)と比べて導入意向は低い。

太陽熱温水器：「既に導入」が2%、「助成があれば導入」が28%と、住民(36%)と比べて導入意向は低い。

小型風力発電：「既に導入」が5%、「助成があれば導入」が23%と、住民(33%)と比べて導入意向は低い。

バイオマスエネルギー：「既に導入」が2%、「助成があれば導入」は9%と低いものの、導入意向の事業者がいる。

コージェネレーション：「既に導入」が2%、「助成があれば導入」が21%とバイオマスエネルギーと比べて導入意向は高い。

クリーンエネルギー自動車：「既に導入」が5%、「助成があれば導入」が49%と、住民(45%)と比べて導入意向が高い。

●導入したいと思わない理由

「費用がかかりすぎる」がいずれの新エネルギーでも高い。

太陽熱利用、クリーンエネルギー自動車は、「保守や維持管理に不安がある」が次いで高く、バイオマスエネルギー、コージェネレーションは「特に関心がない」が高い。

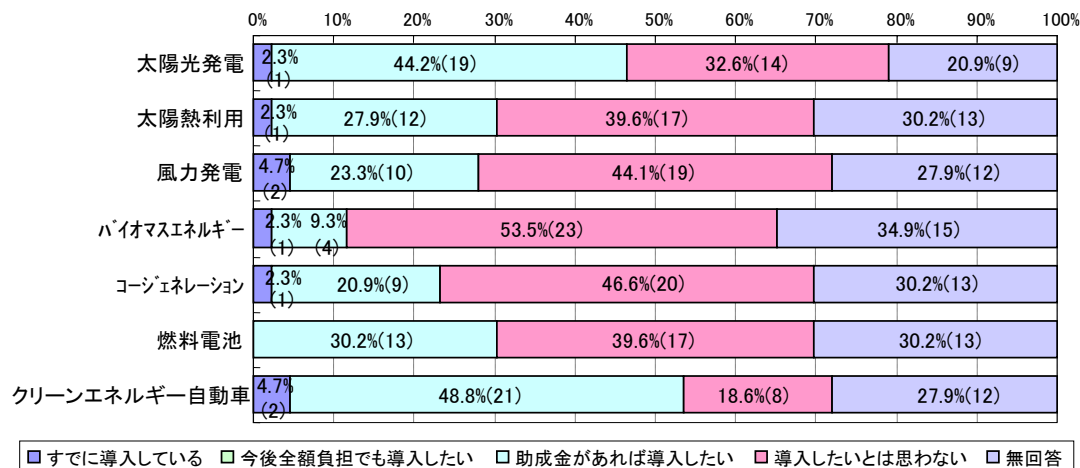
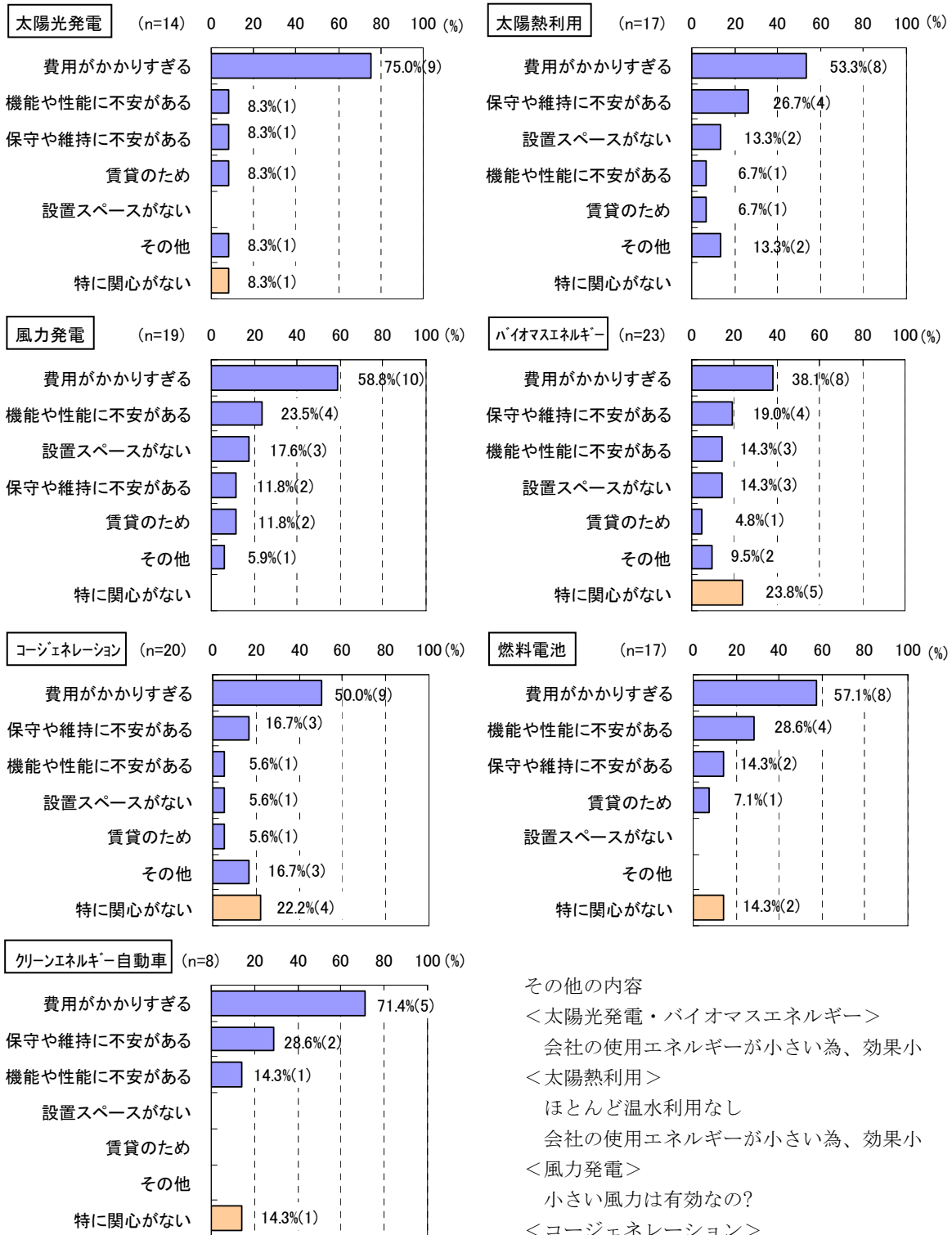


図 4.3-7 新エネルギー機器等の導入



その他の内容
 <太陽光発電・バイオマスエネルギー>
 会社の使用エネルギーが小さい為、効果小
 <太陽熱利用>
 ほとんど温水利用なし
 会社の使用エネルギーが小さい為、効果小
 <風力発電>
 小さい風力は有効なの?
 <コージェネレーション>
 会社の使用エネルギーが小さい為、効果小
 排熱の利用先が少ない

図 4.3-8 導入したいと思わない理由 (複数回答)

●新エネルギーについて知りたい情報

「どのような助成金制度があるか」が54%と最も高いのは、住民アンケート調査と同様であるが、事業者では、「新エネルギーの利用が進んでいる他の市町村や外国の取り組み」が40%、「最新の技術動向」が37%と、具体的な取り組みや技術に関する情報が求められている。

●市民、行政、企業が積極的に導入すべき新エネルギー

「風力発電」が65%で最も高く、次いで「太陽光発電」63%、「太陽熱利用」51%、「燃料電池」33%と、住民と同様である。

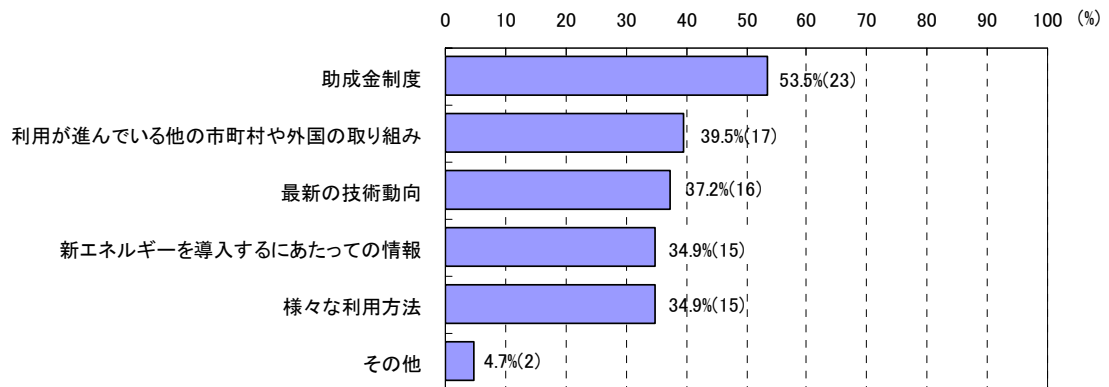


図 4.3-9 新エネルギーについて知りたい情報（複数回答）

[その他の内容]

- ・廃油からディーゼル車に入れる燃料が有るようなことは聞いているが、GSとして市内に設けられるのか?

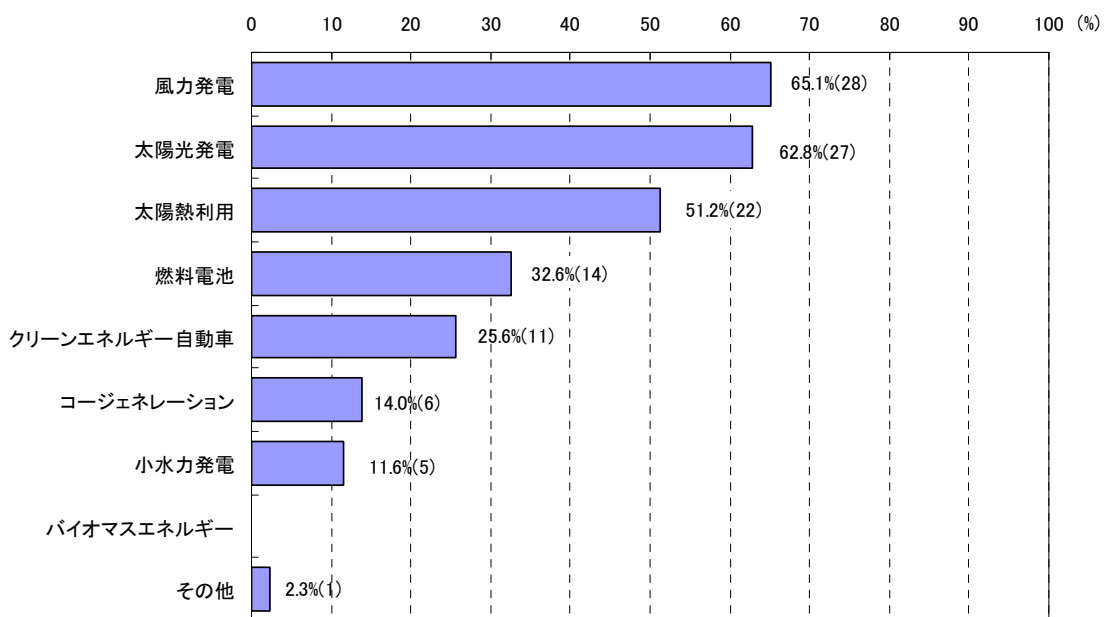


図 4.3-10 市民、行政、企業が積極的に導入すべき新エネルギー（3項目選択）

● 公共施設・教育施設、家庭への新エネルギーの導入

公共施設・教育施設：「積極的に導入」が 26%、「多少のコスト高であれば導入」が 30%と導入意向が高い。

工場・事務所：「従来エネルギーと同じコストであれば導入」が 61%と高いものの、「積極的に導入」、「多少のコスト高であれば導入」が併せて 33%と関心度は高い。

● 新エネルギー導入にあたって市としての取り組み

「市独自の助成金制度の創設」が 65%で最も高く、次いで「講演会の開催やパンフレット作成などの啓発活動」54%、「学校などでの学習活動や啓蒙活動の推進」37%である。

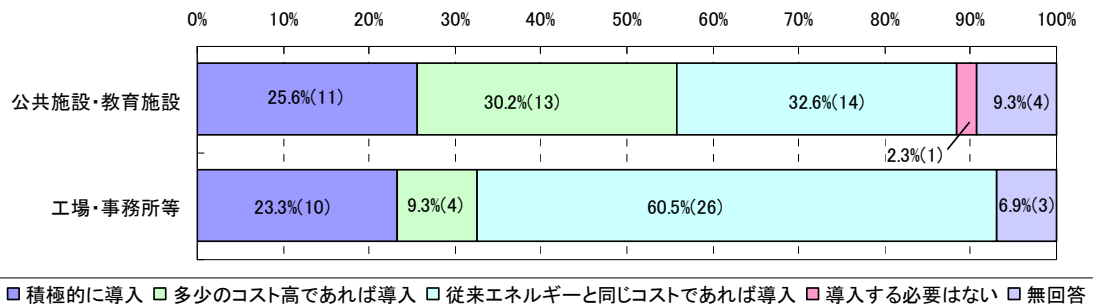


図 4.3-11 新エネルギーの導入

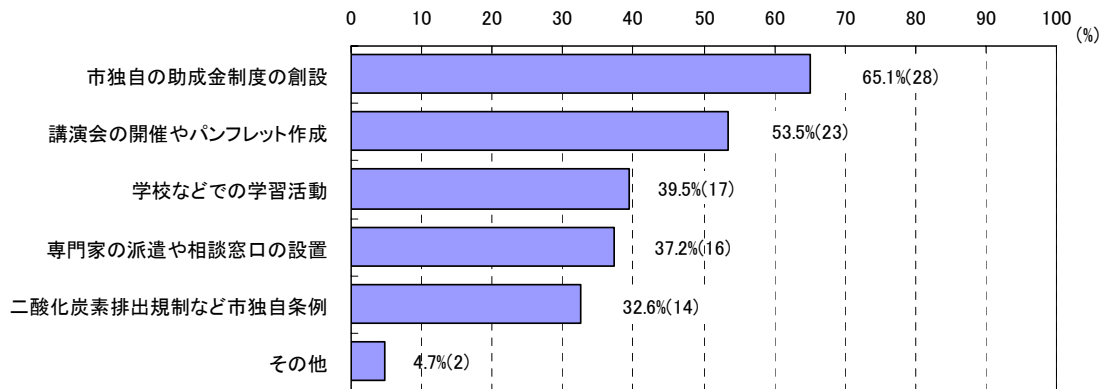


図 4.3-12 新エネルギー導入にあたって市としての取り組み（3項目選択）

[その他の内容]

- ・企業とコラボして具体的商品を創販すべき。
- ・新エネルギー導入より先に省エネルギーについての教育が先である

●新エネルギーによる電気に対して、現状の電気料金と比較してどの程度の金額までなら支払うか

「現状の電気料金と同じ金額」が63%と高く、「1割程度の金額上昇」が16%、「2割程度の金額上昇」が14%と、1割以上の金額上昇許容事業者は33%であり、住民(44%)と比べて低い。

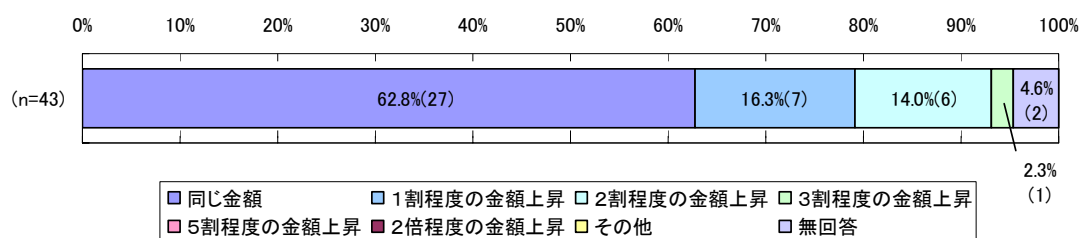


図 4.3-13 現状の電気料金と比較してどの程度の金額までなら支払うか

(5) 事業所でのエネルギーの利用状況

●電気・ガス・灯油・ガソリン・軽油・A重油の使用量（平均）

年間の平均使用量は電気 10,025 千 kWh、灯油 964 千ℓ、ガス 705 千 m³、A重油 587 千ℓ、ガソリン 21 千ℓ、軽油 11 千ℓである。

●主な用途

電気は照明、空調、動力、ガスは約 80%が給湯、灯油は動力、空調、ガソリン・軽油は自動車の燃料、A重油は空調に使用している。

表 4.3-1 電気・ガス・灯油・ガソリン・軽油・A重油の使用量（平均）

	年間使用量	年間料金	回答数
電気	10,025,800 kWh	69,379 千円	33
ガス	704,728 m ³	22,994 千円	25
灯油	963,996 ℓ	26,597 千円	14
ガソリン	21,737 ℓ	1,595 千円	22
軽油	11,064 ℓ	809 千円	11
A重油	587,167 ℓ	2,401 千円	7

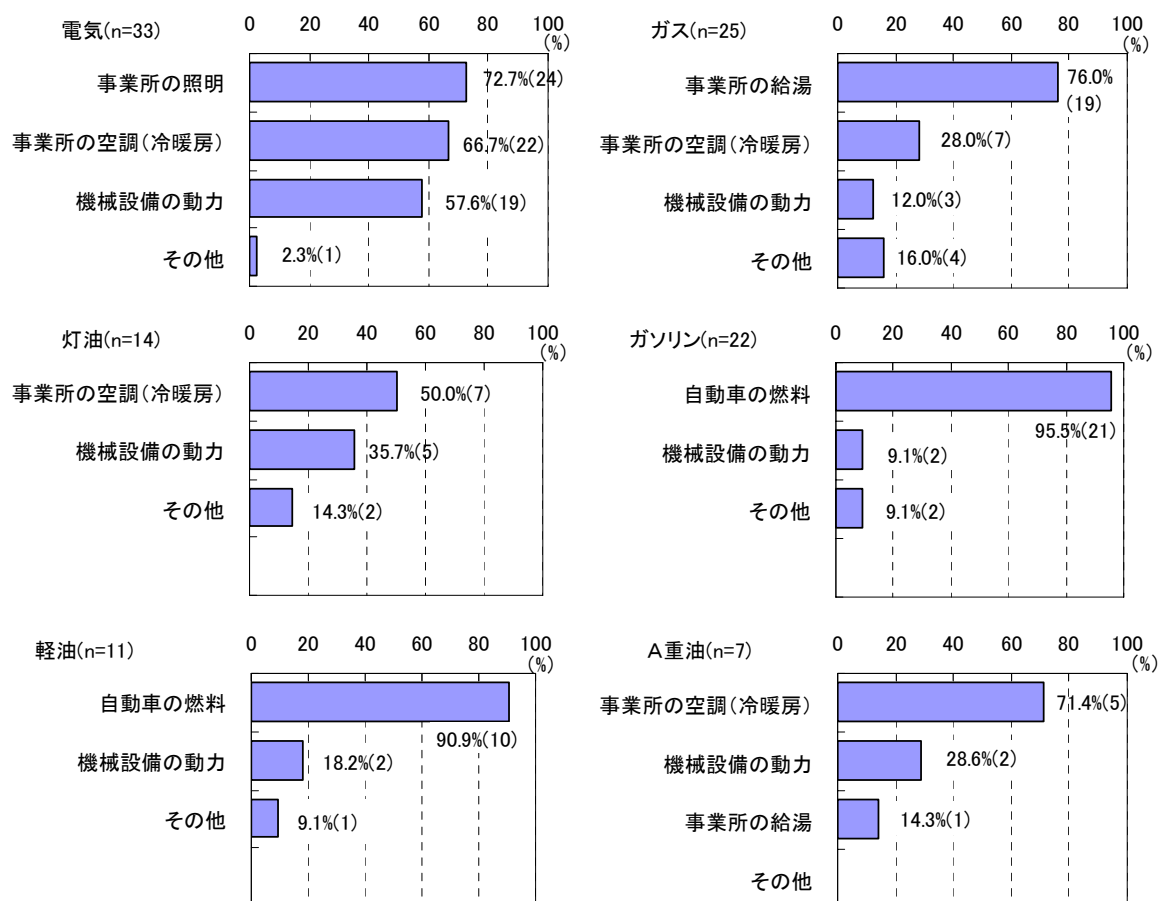


図 4.3-14 主な用途（複数回答）

[その他の内容]

<ガス> 厨房、ガスレンジ、火力源

<灯油> 洗浄、寮の風呂

(6) 廃食用油の状況

●食用油の1ヶ月あたり使用量（平均）

植物性油脂：168ℓ/月、動物性油脂：15ℓ/月

●食用油の1ヶ月あたり廃棄量（平均）

植物性油脂：113ℓ/月、動物性油脂：0ℓ/月

●廃食用油回収システムへの協力：

「分別して回収に協力できる」が19%で最も高く、次いで「分別しないで回収に協力できる」「条件によって協力できる」が9%である。

表 4.3-2 食用油の使用量・廃棄量

	使用量	廃棄（処分）量	回答数
植物性油脂	168 ℓ/月	113 ℓ/月	10
動物性油脂	15 ℓ/月	0 ℓ/月	6

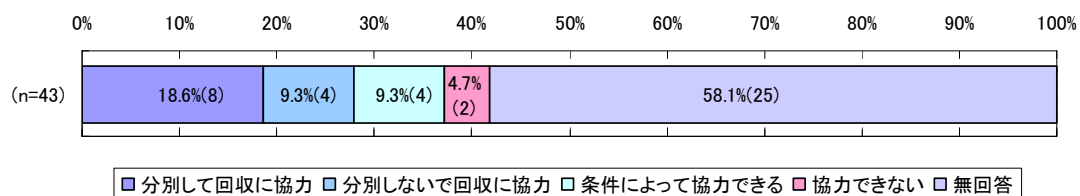


図 4.3-15 廃食用油回収システムへの協力

[協力できる条件]

- ・ゴミステーションの位置にあること